

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00445)

事務事業名称 一般廃棄物処理管理事務			款 06	項 01	目 03	事業 001	整理番号 461				
現担当課名 ごみ減量対策課			係名 管理係			連絡先 電話番号 3723	昨年度 整理番号 464				
上位施策No・施策名 10 ごみの減量と資源化の推進						予算事業区分	既定事業				
事業開始 平成12年度		実行計画事業 目標 03 施策 10 計画事業 01									
平成27年度 担当課名 ごみ減量対策課						事業評価区分	一般				
事務事業の概要	対象 家庭廃棄物及び事業系一般廃棄物 一般廃棄物処理業者		根拠法令等 (1) (2)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○廃棄物の分別状態を適正にし、より円滑な廃棄物処理を可能にしていく。 ○一般廃棄物処理基本計画に定めた目標値の達成を目指す。		活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)		一般廃棄物処理業者許可 (新規・更新) 件数 一般廃棄物搬入ごみ組成調査実施車両延台数						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○適正な排出処理に向けた基盤づくり。 ○一般廃棄物処理業者への助言・指導。 ○在宅医療廃棄物 (使用済注射針) 回収事業に対する薬剤師会へ補助 (事業費の1/2) を行う。 ○杉並区一般廃棄物処理基本・実施計画の策定。 ○清掃事務所作業計画策定。 ○清掃リサイクル事業の基礎データ収集。		成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明		事業系一般廃棄物 (普通ごみ) 搬入量 (持込ごみ量) 指定処理施設 (清掃工場等) への事業系一般廃棄物総搬入量 一般廃棄物の処理施設搬入量 指定処理施設 (清掃工場等) への家庭廃棄物総搬入量 (可燃・不燃・粗大)						
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画 (目標値) 実績		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比 (%)		
指標	活動指標 (1)		1 件	143	116	118	141	148	121	105.0	
	活動指標 (2)		2 台	0	0	0	0	0	0	0.0	
	成果指標 (1)		3 t	25,326	24,997	24,779	24,457	25,034	24,709	102.4	
	成果指標 (2)		4 t	102,114	72,070	99,555	70,445	98,828	68,978	140.3	
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円	2,298	2,080	1,924	5,794	5,185	1,924	平成27年度 予算執行率 (%) 89.5	
	(内) 投資的経費等		6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 ○受益者負担分は、一般廃棄物処理業許可及び浄化槽清掃業許可の手数料収入です。 ○予算執行率90%未満の理由は、廃棄物情報管理システム機器の更新にあたり、競争入札を行った結果、予算見積金額より低かったことによる。	
	(内) 委託費		7 千円	124	154	131	4,060	3,671	130		
	職員数	常勤職員数		8 人	2.36	1.70	1.59	2.10	1.69		1.65
		再任用職員数		9 人	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数		10 人	1.10	0.55	0.55	0.60	0.60		0.60
	人件費	常勤職員分		11 千円	20,367	14,977	14,008	18,501	14,782		14,433
		再任用職員分		12 千円	1,930	0	0	0	0		0
		非常勤職員分		13 千円	3,058	1,557	1,557	1,698	1,761		1,761
	総事業費 (5+11+12+13)		14 千円	27,653	18,614	17,489	25,993	21,728	18,118		
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)		15 円	193,378	160,466	148,212	184,348	146,811	149,736		
	財源	受益者負担分		16 千円	1,478	1,181	1,200	1,431	1,498		1,231
		国からの補助金等		17 千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等		18 千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	1,478	1,181	1,200	1,431	1,498	1,231			
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	26,175	17,433	16,289	24,562	20,230	16,887			
受益者負担比率 (16÷14)		22 %	5.3	6.3	6.9	5.5	6.9	6.8			

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 461

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
(1) 主な取組	廃棄物情報管理システム保守管理			1,785
	全国都市清掃会議負担金の支出ほか			346
	在宅医療廃棄物回収支援	1	団体	200
	家庭ごみ排出状況調査委託			2,430
	その他（複合機保守点検委託ほか）			424
(2) 事業実績	<p>一般廃棄物収集運搬許可業者の立入検査を実施し、助言・指導を実施しました。 杉並区薬剤師会の在宅医療廃棄物（使用済注射針）回収事業に対し補助を行い、廃棄物の適正処理に努めました。 杉並区一般廃棄物処理基本計画改定に向けて、家庭ごみの排出状況調査を実施しました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成12年度から清掃事業が都から区へ移管されました。一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の許可事務は、平成17年度までは区への円滑移行を図るため、経過的に東京二十三区清掃協議会で事務を行い、平成18年度から平成24年度まで区が行いました。平成25年度からは東京二十三区清掃協議会による共同処理となりました。 平成15年度から杉並区薬剤師会の在宅医療廃棄物（使用済注射針）回収事業に対する補助を本格実施しました。 平成25年7月に杉並区一般廃棄物処理基本計画（平成25年度～平成33年度）を策定しました。</p>	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	特にありません。	
	今後の予測	平成29年度に杉並区一般廃棄物処理基本計画の改定が予定されています。そのため、計画改定に向けた作業を行います。	
評価と課題	<p>平成27年度は杉並区一般廃棄物処理基本計画の取組を着実に実施したことにより、数値目標に近づけることができました。（区収集ごみ量：目標505g／人日 実績490g／人日、資源回収率：目標28.9% 実績28.4%）。 平成25年7月に策定した杉並区一般廃棄物処理基本計画の取組を、区民、事業者に対して更に周知していくとともに、数値目標を達成するための新たな減量手法を確立する必要があります。</p>		
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	<p>平成29年度の杉並区一般廃棄物処理基本計画改定に向けて、数値目標の達成状況の確認や基礎調査等を実施していきます。 一般廃棄物処理業等許可事務については東京二十三区清掃協議会による23区共同処理となりましたが、区は必要に応じて立入検査や行政指導等を行うことで、事業所から排出されるごみの適正処理の徹底を図ります。 在宅医療廃棄物については適正処理のために、平成28年度から補助の助成額を10万円増額して事業の適正な運営に今後努めていきます。</p>	

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00446)

事務事業名称			ごみの減量と資源化の推進				款 06	項 01	目 03	事業 002	整理番号	462	
現担当課名			ごみ減量対策課				係名 事業計画係			連絡先 電話番号	3725	昨年度 整理番号	465
上位施策No・施策名			10 ごみの減量と資源化の推進				予算事業区分		既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成13年度	実行計画事業 目標 03 施策 10 計画事業 01 02				主要事業 (区政経営報告書掲載事業)						
	平成27年度 担当課名 対象	ごみ減量対策課				事業評価区分		一般					
	対象		区民・事業者・産業団体等		根拠 法令 等	(1)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
						(2)	循環型社会形成推進基本法						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		<p>○啓発活動を通して、区民のごみ減量への意識を高めつつ、ごみの発生抑制や再利用、再生利用の手法により、ごみ減量を実現する。</p> <p>○区民・事業者・行政の協働により、普及啓発や家具のリユースや集団回収への取組みを進め、ごみの発生の抑制とリサイクルの意識を高める。</p>				活動指標	パンフレット、チラシ及びポスター延べ配布部数					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)		<p>○ごみの減量を推進するため、ごみ・資源の収集カレンダーをはじめとする各種啓発物の発行や小中学校への環境学習により、啓発活動を行う。</p> <p>○資源の集団回収団体に対し報奨金・支援物品を支給する。</p> <p>○資源化を推進するため、小型家電15品目の拠点回収し、希少金属の再資源化業者に引き渡す。</p>				指標説明	指標名 (1) 集団回収実施団体数						
						成果指標	ごみ量削減率 (対前年度比)						
						指標説明	当該年度家庭ごみ量 ÷ 前年度家庭ごみ量						
						指標名 (2)	資源回収率						
						指標説明	(区資源回収量 + 集団回収量) ÷ (家庭ごみ量 + 区資源回収量 + 集団回収量)						
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度				
				計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)				
指標	活動指標 (1)	1 枚	634,700	601,540	606,350	591,350	606,350	606,350	102.5				
	活動指標 (2)	2 団体	421	400	444	443	457	469	103.2				
	成果指標 (1)	3 %	98.0	98	96.7	98	99.3	98	101.3				
	成果指標 (2)	4 %	28.4	28.0	28.5	28.9	28.4	29.1	98.3				
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	75,051	75,931	75,609	86,216	79,735	91,924	平成27年度 予算執行率 (%)	92.5			
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内) 委託費	7 千円	16,955	18,271	18,152	17,219	17,145	21,466					
	職員数	常勤職員数	8 人	6.97	7.48	7.79	7.27	7.47	6.80				
		再任用職員数	9 人	0.50	1.40	1.10	1.40	1.10	0.70				
		非常勤職員数	10 人	0.80	0.15	0.15	0.15	0.15	0.85				
	人件費	常勤職員分	11 千円	60,151	65,899	68,630	64,049	65,340	59,480				
		再任用職員分	12 千円	1,930	5,670	4,455	5,670	4,553	2,897				
		非常勤職員分	13 千円	2,224	425	425	425	440	2,495				
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	139,356	147,925	149,119	156,360	150,068	156,796					
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	220	246	246	264	247	259					
	財源	受益者負担分	16 千円	0	360	368	0	0	0				
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	360	368	0	0	0					
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	139,356	147,565	148,751	156,360	150,068	156,796					
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0						

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 462

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	ごみ・資源の収集カレンダーの発行	430,000	部
	清掃情報紙「ごみパックン」「ごみパックン中学生版」の発行	127,200	部	2,512
	集団回収団体報奨金支払い	457	団体	42,682
	その他（集団回収支援消耗品の購入ほか）			21,397
(2) 事業実績	<p>ごみ・資源の収集カレンダーや「ごみパックン」などの清掃情報紙、ごみ出しアプリなどによる適正な分別やごみ減量の普及啓発を継続して実施しました。また、協働提案制度に基づき、子育て支援団体との協働事業による生ごみ減量の普及啓発も合わせて実施しました。</p> <p>集団回収については、NPO法人すぎなみ環境ネットワークと協働で行っている団体募集のPRにより、活動団体数は増加しましたが、図書や雑誌の電子化等により、回収量は減少しました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成12年度に清掃事業が東京都から23区に移管されたことに伴い、「杉並区の清掃事業」の発行を開始し、現在は隔年発行しています。平成17年度から「ごみパックン」の発行を開始しました。平成20年から地区別に「ごみ・資源の収集カレンダー」を発行しています。</p> <p>平成18年度から、小学4年生に「できることからはじめよう」を、平成22年度から中学生に「ごみパックン中学生版」を発行し、年代に応じた内容でごみの減量を周知しています。</p> <p>平成25年度に、スマートフォン用アプリケーション「なみすけのごみ出し達人（マスター）」（ごみ出しアプリ）を開発、配信を開始し、平成28年3月末現在、約20,000ダウンロードされています。</p> <p>集団回収量は、平成23年度以降、増加を続けていましたが、平成27年度は減少となりました。</p>	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>区で作成している「杉並区の清掃事業」、「ごみパックン」、「ごみ・資源の収集カレンダー」、ごみ出しアプリの配信を含め、今後もごみ減量の啓発活動を継続していくべきものと考えています。</p> <p>集団回収については、支援内容の充実を求められています。</p>	
	今後の予測	<p>区で作成している、「杉並区の清掃事業」、「ごみパックン」、「ごみ・資源の収集カレンダー」はいずれもおおむね好評であり、ごみ出しアプリの配信を含め、今後もごみ減量の啓発活動は継続する必要があると考えています。特に、ごみ出しアプリに翻訳機能を持たせ、外国人居住者に配慮していきます。</p> <p>集団回収事業は、制度のPRや活動支援策の充実を図っていくことで、団体数は増加すると考えられますが、回収量については図書や雑誌の電子化等により、古紙を中心に減少傾向にあります。</p>	
評価と課題	<p>清掃情報紙「ごみパックン」の配布方法等について、見直しを図っていきます。</p> <p>ごみ減量については、区民が主体となって取り組んでもらうよう、ごみ減量の意義や適正な分別、処理経費の削減の必要性など、様々な機会を通じて働きかけを引き続き行っていくとともに、家庭でのごみ減量や食品ロス削減への取組などを進めていきます。</p> <p>集団回収事業については、全体の回収量は減少していますが、更に集団回収を活発にし、良質な資源を確保していくため、回収団体数の増加を目指し、支援を継続していきます。</p>		
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
今後の進め方	<p>「ごみ・資源の収集カレンダー」は、紙での周知媒体として好評を得ておりますが、一方で毎年作成し、全戸配布する必要はないという意見もあります。杉並清掃工場の竣工等を踏まえて、今後、収集日の変更等が発生する場合に区民に漏れなく周知できるよう、内容や配布方法、経費の改善など、カレンダーの在り方を検討していきます。</p> <p>集団回収事業は、町会・自治会や大規模集合住宅など既存の団体等に対し、積極的に制度のPRや実施の働きかけを行うとともに、活性化のための有効な支援策を検討を進めます。</p>		

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00447)

事務事業名称			ごみ・し尿の収集・運搬			款	06	項	01	目	03	事業	003	整理番号	463				
現担当課名			ごみ減量対策課			係名			事業計画係			連絡先 電話番号	3725	昨年度 整理番号	466				
上位施策No・施策名											10 ごみの減量と資源化の推進		予算事業区分			既定事業			
事業開始			平成12年度		実行計画事業			目標		03		施策		10		計画事業		03	
平成27年度 担当課名			ごみ減量対策課									事業評価区分			一般				
事務事業の概要	対象			○区内一般家庭○事業者（排出日量50kg未満）			根拠法令等		(1)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
									(2)		杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例								
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）			○集積所等に分別・排出されたごみを、適正かつ効率的に収集・運搬します。 ○区民が利用しやすいよう、収集サービスの向上を図ります。			活動指標		指標名 (1)		ごみ（可燃、不燃、粗大）の収集量								
							指標説明		指標名 (2)		粗大ごみの収集点数								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）			○区民等が分別し排出した可燃ごみ・不燃ごみを中間処理施設に搬入する。 ○粗大ごみは、受付、収集、中継所までの運搬を委託により実施する。			成果指標		指標名 (1)		区民一人1日当たりのごみ排出量									
						指標説明		指標名 (2)		ごみ（可燃、不燃、粗大）の収集量÷杉並区人口÷365日									
						指標説明		指標名 (2)		1t 当たりのごみ・し尿収集運搬コスト									
						指標説明		指標名 (2)		ごみ・し尿収集運搬コスト（事業費）÷ごみ収集量									
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度										
				計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)										
指標	活動指標 (1)	1	t	102,115	100,469	99,555	99,497	98,828	98,536	99.3									
	活動指標 (2)	2	点	461,277	488,000	474,359	488,000	506,649	500,000	103.8									
	成果指標 (1)	3	g/人・日	515	510	498	505	490	500	97.0									
	成果指標 (2)	4	円/t	16,024	16,967	16,173	16,730	16,613	17,277	99.3									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	1,605,152	1,671,692	1,610,081	1,664,579	1,641,839	1,702,422	平成27年度 予算執行率(%)		98.6							
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	(内) 委託費	7	千円	1,593,743	1,642,839	1,598,013	1,631,407	1,623,584	1,664,549										
	職員数	常勤職員数	8	人	162.67	152.66	161.49	151.66	166.21	153.70									
		再任用職員数	9	人	10.43	13.10	14.31	11.19	10.61	9.00									
		非常勤職員数	10	人	3.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30									
	人件費	常勤職員分	11	千円	1,403,842	1,344,935	1,422,727	1,336,125	1,453,839	1,344,414									
		再任用職員分	12	千円	40,260	53,055	57,956	45,320	43,915	37,251									
		非常勤職員分	13	千円	10,647	0	0	0	0	881									
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	3,059,901	3,069,682	3,090,764	3,046,024	3,139,593	3,084,968										
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	29,965	30,554	31,046	30,614	31,768	31,308										
	財源	受益者負担分	16	千円	304,957	328,469	330,746	0	0	0									
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0									
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0									
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0										
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	304,957	328,469	330,746	0	0	0										
差引：一般財源 (14-20)	21	千円	2,754,944	2,741,213	2,760,018	3,046,024	3,139,593	3,084,968											
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	10.0	10.7	10.7	0.0	0.0	0.0											

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 463

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		収集・運搬車両経費（可燃・不燃）			
		粗大ごみの収集運搬委託			301,635
		し尿の収集・運搬	27	戸	15,033
		収集作業員人件費（臨時）	1,494	人	14,929
		その他（賃借料・委託料・消耗品購入ほか）			79,558
	(2) 事業実績	<p>可燃ごみ量は0.5%、不燃ごみ量は10%、それぞれ平成26年度より減少しています。不燃ごみについては、再資源化の取組を拡大したことにより、大幅に減少しました。 ごみ量全体では、約727tの減少となりましたが、杉並清掃工場建替期間中による他区の清掃工場への搬入による、車両経費が増加しております。</p>			

事業開始当初から現在までの変化	可燃ごみ量 平成12年度 108,401 t ⇒ 平成27年度 92,034 t 対平成12年度比 約15%減
	不燃ごみ量 平成12年度 25,288 t ⇒ 平成27年度 3,187 t 対平成12年度比 約87%減
	粗大ごみ量 平成12年度 4,919 t ⇒ 平成27年度 3,608 t 対平成12年度比 約27%減
	総 計 平成12年度 138,608 t ⇒ 平成27年度 98,828 t 対平成12年度比 約29%減

事業環境の変化	<p>資源の分別に関する問い合わせが多く寄せられており、ごみ減量行動の実践、意識が浸透してきています。また悪天候の中での収集作業に対し、感謝の声も多く届いています。一方、ごみ集積所の管理は、特定の利用者に負担が大きく、ごみの出し方のマナーなどによるトラブルが発生していることから、戸別収集を希望する声が多く寄せられています。</p>
---------	--

今後の予測	<p>ごみ量は、平成25年度に改定した、杉並区一般廃棄物処理基本計画に基づく、ごみ排出量の削減や資源化の推進、適正排出のための具体的な取組などにより、年々減少しています。一方で、近隣関係の希薄化や、若年層・単身世帯の排出マナーの課題などから、集積所は年々増加しています。</p>
-------	---

評価と課題	<p>平成27年度の、杉並区民一人1日あたりのごみ量は490gと、前年度と比較して8g減少しました。しかし、平成29年までの杉並清掃工場の建替期間中は、他区の清掃工場へごみを運搬するため、収集車を増車して対応しています。 事業系ごみの収集においては、平成29年10月に廃棄物処理手数料の改定を予定しています。今後も適正なごみ処理券の貼付に向けた周知・指導を行っていきます。</p>
-------	--

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）

今後の進め方	<p>収集コストの抑制を図りつつも、ごみ量のみならず、ごみ集積所数やふれあい収集の件数増加に対応するため、効率的な収集体制を確立していきます。 また、粗大ごみや不燃ごみの資源化の実施による、金属等の売払による歳入の確保や、資源の有効活用にも努めていきます。</p>
--------	--

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00448)

事務事業名称			ごみ運搬の中継業務			款 06	項 01	目 03	事業 004	整理番号	464		
現担当課名			杉並清掃事務所			係名 管理係			連絡先 電話番号	3323-4571	昨年度 整理番号	467	
上位施策No・施策名									10 ごみの減量と資源化の推進			予算事業区分	既定事業
事業開始			平成12年度			実行計画事業 目標 03 施策 10 計画事業 02			主要事業 (区政経営報告書掲載事業)				
平成27年度 担当課名 対象			杉並清掃事務所						事業評価区分 一般				
事務事業の概要	収集した粗大ごみ・不燃ごみ					根拠 法令 等	(1)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
							(2)	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○中型車に積替えることで運搬車両台数を減らし、運搬コストの節減と環境への負荷を軽減する。 ○ごみの減量と資源の有効活用を進める。 ○中継所を適切に管理運営し、効率的な搬入・搬出を行う。					活動指標	指標名 (1)	粗大ごみ・不燃ごみ量					
						指標説明	指標名 (2)	粗大ごみ搬入車両台数					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○収集した粗大ごみを中型車へ積替え、処理施設へ搬出する。 ○粗大ごみ・不燃ごみの選別を行い、有用金属の資源回収を行う。 ○堀ノ内中継所 (民間施設) の管理運営を行う。					指標説明	成果指標	指標名 (1)	粗大ごみ中継搬出車両台数					
						指標説明	指標名 (2)	不燃ごみから選別した資源割合					
						指標説明	中継所で選別した資源総量 (金属分、蛍光管、スプレー缶、ライター) ÷ 中継所に搬入された不燃ごみ総量						
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度				
				計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)				
指標	活動指標 (1)	1	t	5,077	8,041	7,074	7,794	6,795	7,687	87.2			
	活動指標 (2)	2	台	16,032	15,600	15,464	15,600	15,514	15,600	99.4			
	成果指標 (1)	3	台	3,223	3,554	3,175	3,750	3,220	3,565	85.9			
	成果指標 (2)	4	%	0.0	20	27.8	20	25.4	20	127.0			
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	151,271	198,211	188,767	231,487	222,678	233,209	平成27年度 予算執行率 (%) 96.2			
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内) 委託費	7	千円	126,043	168,991	159,605	202,272	193,526	203,994	平成26年度から不燃ごみの有用金属の選別を開始した。(平成26年度方南地域1/3、平成27年度方南全域及び本所地域1/3、平成29年度区内全域対象予定)			
	職員数	常勤職員数	8	人	1.39	1.38	1.37	1.37	1.40	1.30			
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
	人件費	常勤職員分	11	千円	11,996	12,158	12,070	12,070	12,246	11,371			
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0			
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	163,267	210,369	200,837	243,557	234,924	244,580				
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)	15	円	32,158	26,162	28,391	31,249	34,573	31,817				
	財源	受益者負担分	16	千円	48,739	57,434	50,546	56,182	49,899	55,446			
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0			
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	48,739	57,434	50,546	56,182	49,899	55,446				
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	114,528	152,935	150,291	187,375	185,025	189,134				
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	29.9	27.3	25.2	23.1	21.2	22.7					

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 464

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
		(1) 主な取組	粗大ごみ中継車両借上	3,220
	粗大ごみ中継業務委託			26,340
	特定家庭用機器の運搬業務委託			898
	不燃ごみ中継業務委託			64,128
	その他（堀ノ内中継所土地等賃貸借及び電気使用料）			29,152
(2) 事業実績	粗大ごみは、堀ノ内中継所で中型プレス車両に積替え、運搬車両台数を削減し、コスト削減と環境への負荷を軽減しました。粗大ごみ収集車両延べ15,514台で収集し、約1/5に車両台数を削減し、中型プレス車両延べ3,220台で破碎処理施設等へ運搬しました。不燃ごみは、堀ノ内中継所でスプレー缶・カセットボンベ等、蛍光管等の水銀含有物や資源化可能な金属分を多く含むものを選別し、資源の有効活用を進めました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年4月に家電リサイクル法が施行され、粗大ごみから家電機器4品目（エアコン、冷蔵庫、テレビ、洗濯機）が対象となりました。平成21年4月には新たに2品目（衣類乾燥機、液晶・プラズマテレビ）が対象となりました。平成24年1月から新たな粗大ごみ受付システムを稼働しました。平成25年度からごみの減量と資源の再利用化のため、粗大ごみの有用金属の選別を行い、事業者へ売却しています。平成26年度から不燃ごみの有用金属を選別し再資源化処理事業者に売却しています。また、スプレー缶等危険物の除去（適正処理のち再資源化）や蛍光管等の水銀含有物の処分委託を行っています。平成26年度に1kgあたり20円台だった有用金属の売却単価は、平成27年度末には5円未満まで下落しました。		
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	「粗大ごみ等からの有用金属の選別を徹底し、貴重な資源の回収率を上げ、歳入増を図る等経費の削減を図ってほしい。」との意見が寄せられています。		
	今後の予測	平成29年度に不燃ごみの有用金属類の選別対象区域を拡大し、区内全域で実施する予定です。そのため、有用金属回収量の増加が見込まれます。また、選別対象区域を拡大することにより、委託費等の増額も見込まれます。有用金属の売却単価は、社会情勢の変化による変動が考えられます。		
評価と課題	粗大ごみの中型車両への積替は、運搬コストの節減と環境への負荷の軽減を主目的に行っています。また、積替作業時に有用金属の選別を行うことで、粗大ごみ量が減少しました。不燃ごみについても選別作業を行うことで、不燃ごみ量が減少しました。有用金属の売却単価は社会情勢の変化に左右されていますが、今後ごみの有効利用について、検討・工夫を重ねていきます。不燃ごみ全量の選別作業実施には委託費等の増額が必要となりますが、引き続きごみの減量と資源の有効活用を推進します。			
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充	
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）	
今後の進め方	この事務事業は、運搬コストの削減と車両走行距離を短くすることによる環境への負荷の軽減を主目的とし、「ごみの削減」や「資源化」は付随的に発生しているものです。「ごみの削減」や「資源化」は重要な施策と位置づけていますが、この事務事業の主目的と大きく違うため、評価することが困難です。『不燃ごみの中継業務』は「ごみ・し尿の収集・運搬」の中でごみ減量に向けた取り組みとして評価することが相応しいと考えられるため、事務事業の再構築（事業の執行項目の見直し）を図ります。			

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 465

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	古紙・びん・缶の回収業務委託		
	ペットボトルの回収業務委託（中継・搬送業務含む）			360,998
	プラスチック製容器包装回収業務委託			555,960
	中間処理委託（回収した資源の中から異物を取り除き、圧縮・梱包する）			599,091
	その他（消耗品の購入 ほか）			24,578
(2) 事業実績	古紙、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装を回収し、中間処理施設まで運搬し、選別・圧縮等を行い、資源化を図りました。資源回収量は減少傾向にあります。特に古紙は排出抑制の成果、図書や雑誌の電子化等により減少したと推測しています。ペットボトルは、平成27年2月末をもって行政による拠点回収（店頭回収）が終了したため減少しています。集積所からの資源持ち去り対策は、早朝回収や早朝パトロールなどを行っています。持ち去り行為を繰り返す違反者に対し、刑事告発（3件・2名）、氏名公表（延べ15名）を実施しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年6月からびん・缶・古紙の集積所回収を開始し、平成12年度の清掃事業の区へ移管以降は平成18年10月から雑紙を、また平成20年4月からはペットボトルとプラスチック製容器包装の集積所回収をはじめると、着実に行政回収が定着しています。 排出抑制の周知等により、資源回収量は減少傾向にあります。また、区民からの集積所の分散の要望が増えていることによる集積所の細分化が進み、回収時間が長くなるなど事業者の負担が増えています。 市況によって資源が高額で売却できるため、特に新聞等古紙の持ち去り行為が行われています。	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	集積所における回収漏れ等の問い合わせがあります。時間外の排出等も見受けられますが、単純に収集漏れの場合もあります。資源の持ち去り行為に対しては、禁止命令書の交付、氏名等公表にとどまらず、さらに厳しい対応を求める区民の要望もあります。また、区民からの目撃情報も寄せられます。	
	今後の予測	資源として回収することにより、ごみ量は減少してきています。さらに分別に対する区民の方々のご理解とご協力をいただきながら、より良質な資源の確保に努めていきます。ここ数年では資源の回収量についても減少傾向にあります。ごみとともに資源も減少することが望ましいことですので、排出抑制に取り組み、資源回収率の向上に努める必要があります。	
評価と課題	今後も委託事業者と連携し、着実な資源の回収を行います。リデュース、リユース、リサイクルの「3R」の普及啓発に加え、分別に関する普及啓発を行い、良質な資源の確保に努めます。 資源持ち去りパトロールなどの対策により、持ち去り行為者は減少していますが、一部常習者が継続的に行っている状況です。これまでどおり事業者や関係する組合等と粘り強く対策を進めていきます。		
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	スマートフォンのアプリやごみ・資源の収集カレンダーなどあらゆる媒体を活用し、広く区民に情報提供を行い、良質な資源の確保に努めます。古紙については図書や雑誌の電子化等により回収量が減少傾向にあります。今後の回収量の動向について注視していく必要があります。資源持ち去り行為者は減少傾向にありますが、今後も区民の理解を得ながら、早朝パトロール、早朝回収等必要な対策を粘り強く実施してきます。	

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00450)

事務事業名称			ごみ・資源の排出の適正管理			款	06	項	01	目	03	事業	006	整理番号	466	
現担当課名			杉並清掃事務所			係名			管理係			連絡先 電話番号	3392-7281	昨年度 整理番号	469	
上位施策No・施策名											10 ごみの減量と資源化の推進		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始		平成12年度	実行計画事業			目標	03	施策	10	計画事業		03	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)		
	平成27年度 担当課名		杉並清掃事務所			事業評価区分			一般							
	対象				区民及び区内事業者並びに区内建築物所有者及び管理者		根拠 法令 等	(1)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
								(2)	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				〇ごみの分別の徹底を働きかけ、カラス等による集積所の被害を防止するために区民等が取り組みやすく、より低コストで効果的な方策で、集積所の衛生状態やまちの美観を保持する。				活動指標		ふれあい指導調査件数					
								指標名 (1)								
								指標説明								
								指標名 (2)		事業用大規模建築物への立入指導件数						
								指標説明								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)				〇事業系、粗大ごみ処理手数料及び動物死体処理手数料の徴収を行う。 〇ごみ排出の適正化指導、集積所のカラス等による被害の防止対策、大規模建築物の所有者への排出指導などを行う。				成果指標		カラス被害のある集積所割合						
								指標名 (1)								
								指標説明								
								指標名 (2)								
								指標説明								
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度							
				計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)							
指標	活動指標 (1)	1 件	2,461	2,500	2,342	2,500	2,280	2,500	91.2							
	活動指標 (2)	2 件	71	100	65	100	64	100	64.0							
	成果指標 (1)	3 %	1.0	0	1.0	0	2.5	0	0.0							
	成果指標 (2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	57,878	67,455	61,502	64,540	56,814	68,538	平成27年度 予算執行率 (%)	88.0						
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内) 委託費	7 千円	18,559	21,755	18,854	21,249	18,606	21,234	動物死体手数料、ふれあい指導用消耗品購入費が計画より減った等の理由により執行残となりました。							
	職員数	常勤職員数	8 人	37.30	31.95	37.20	31.73	33.66	29.50							
		再任用職員数	9 人	0.67	0.50	1.02	1.11	2.00	2.00							
		非常勤職員数	10 人	0.10	0.05	0.05	1.00	1.00	1.00							
	人件費	常勤職員分	11 千円	321,899	281,480	327,732	279,541	294,424	258,037							
		再任用職員分	12 千円	2,586	2,025	4,131	4,496	8,278	8,278							
		非常勤職員分	13 千円	278	142	142	2,830	2,935	2,935							
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	382,641	351,102	393,507	351,407	362,451	337,788								
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	155,482	140,441	168,022	140,563	158,970	135,115								
	財源	受益者負担分	16 千円	34,863	28,951	28,737	30,294	29,363	30,196							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	376	501	280	445	264	387							
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	35,239	29,452	29,017	30,739	29,627	30,583								
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	347,402	321,650	364,490	320,668	332,824	307,205								
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	9.1	8.2	7.3	8.6	8.1	8.9									

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 466

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		有料ごみ処理券徴収事務委託	349	店	14,630
		動物死体処理委託	707	頭	1,833
		折り畳み式収集ボックス(1,200台)、カラスネット(700枚)の購入	1,900	台	25,080
	その他（ごみ処理券印刷、大規模建築物指導、ふれあい指導用消耗品ほか）			15,271	
(2) 事業実績	<p>ごみ・資源集積所でカラスによる被害防止を図るため、折り畳み式収集ボックス、カラスネットの配布又は交換を継続して行い、道路・まちの衛生保持、美観の向上に努めました。</p> <p>「ふれあい指導班」により、ごみの正しい分け方・出し方や資源化に関する周知を行いました。</p> <p>また、廃棄物管理責任者講習会を9月と2月に開催しました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成20年度からは、不燃ごみのうち廃プラスチックや皮革製品などを、可燃ごみへ分別変更し、サーマルリサイクルを開始しました。また、プラスチック製容器包装、ペットボトルを新たな資源として回収を始め、古紙も分類に雑がみが加わるなど、ごみの減量と資源化を進めています。</p> <p>相隣関係の困難さやごみ排出適正化の推進、狭小路地地区へのきめ細かな収集サービスの提供などにより、ごみ・資源集積所の分散化が年々進んでいます。</p> <p>杉並清掃工場の建替えに伴い、可燃ごみの全量を指定された他区の清掃工場へ搬入しています。</p> <p>平成25年10月にごみ処理経費と受益者負担との見直しにより、ごみ処理手数料を改定しました。</p>	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>区民の環境への関心が高まっているなかで、ごみ・資源集積所の管理や、ごみ・資源の分け方・出し方に関する質問や要望・苦情が多数寄せられています。また、戸別収集の実施を求める意見もあります。</p>	
	今後の予測	<p>ごみ・資源集積所の管理や、ごみ・資源の分け方・出し方は自治体ごとに異なることから、毎年、多数の転入がある杉並区では、区民や事業者からの問い合わせが引き続き多数寄せられてくると予測されます。</p>	
評価と課題	<p>ごみの分別の徹底や資源化の推進により、区民一人1日当たりのごみ量は23区で一番少なくなっています。より一層の分別の徹底に向け、若年層や単身世帯、地域の生活ルールに不慣れな外国人などへの分別方法の周知を図るため、イラストを活用したわかりやすい集積所看板の設置を進めます。</p> <p>事業者に対し事業系有料ごみ処理券が必要な旨の周知や排出指導を強化することで、貼付率の向上を図っていきます。</p>		
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	<p>ごみの減量のためには、ごみ・資源の分別の徹底と排出者責任を明確にすることが肝要です。今後も区民や事業者に対し、ごみの分別と資源化の徹底を働きかけていきます。</p> <p>地域での生活ルールに不慣れな外国人対応として、「杉並版ごみ出しアプリ」に翻訳機能を追加拡充します。</p> <p>「ふれあい収集」時に、ごみが出ていない場合には声かけをするなどして、対象者の安否確認を積極的に行っていきます。特に夏場の熱中症対策の一環として、安否確認の強化を行うなど福祉分野と連携した区民サービスの向上に努めていきます。</p>	

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00453)

事務事業名称 清掃車の運行及び維持管理			款 06	項 01	目 04	事業 001	整理番号 469			
現担当課名 杉並清掃事務所			係名 管理係			連絡先 電話番号 3392-7281	昨年度 整理番号 472			
上位施策No・施策名 10 ごみの減量と資源化の推進						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成12年度								
	平成27年度 担当課名	杉並清掃事務所				事業評価区分	施設維持管理			
	対象	区所有清掃車両 (ごみ収集車、軽ダンプ車、連絡車) 50台		根拠法令等 (1)	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
				(2)	道路運送車両法					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○加害事故「0」の実現と継続 前年件数の半減を目標とし加害事故を根絶させる。 ○作業計画に基いた直営清掃車両の搬入回数 計画数内の搬入を目標に効率的な運行を目指す。		活動指標	交通事故加害件数					
				指標名 (1)						
				指標説明						
				指標名 (2)	年間延直営清掃車両搬入回数					
				指標説明						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○車両を安全・適切に運行するため整備等を行い、維持管理する。 ○安全運転走行への意識の向上により、事故件数の減と、連続無事故日数の更新を継続する。 ○各種の講習会を実施し、安全運転技術のスキルアップを図る。		成果指標							
				指標名 (1)						
				指標説明						
				指標名 (2)						
				指標説明						
区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)		
指標	活動指標 (1)	1 件	1	0	12	0	7	0	0.0	
	活動指標 (2)	2 台	10,324	10,986	10,367	11,196	10,843	10,263	96.8	
	成果指標 (1)	3								
	成果指標 (2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	33,456	44,858	34,352	37,578	28,132	36,784	平成27年度 予算執行率 (%) 74.9	
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 小型プレス車架装修理、エンジンオーバーホールを前年度実施した等の理由により、前年度事業費から減となりました。 自動車用燃料費用が計画より減った等の理由により執行残となりました。	
	(内) 委託費	7 千円	85	219	97	137	81	137		
	職員数	常勤職員数	8 人	30.23	27.00	29.16	27.00	29.14		26.00
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	260,885	237,870	256,900	237,870	254,888		227,422
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	294,341	282,728	291,252	275,448	283,020	264,206		
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)	15 円	294,341,000	0	24,271,000	0	40,431,429	0		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0		0
国からの補助金等		17 千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等		18 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19 千円	12	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	12	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	294,329	282,728	291,252	275,448	283,020	264,206		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 469

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		自動車用燃料	51	台	10,912
		車両点検整備	51	台	14,769
		維持管理経費（車両消耗品、保険料・公課費等）	51	台	2,395
		整備架装研修の参加	1	人	56
		その他（ ）			
(2) 事業実績	車両点検整備の実施 ①3ヶ月点検31台 ②6ヶ月点検50台 ③12ヶ月点検18台 ④架装点検176台 ⑤車検事前点検34台 各種研修・講習会の実施 ①交通安全講習会 6回 ②安全運転特別講習会 2回 ③運転実技指導 2回 ④整備架装研修				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	

評価と課題	これまで各種研修や講習会を実施し安全運転技術及び安全運転に対する意識の向上に努めているところですが、引き続き交通事故の根絶に向けた取組強化が課題となります。 平成29年10月の新杉並清掃工場の稼働に伴い、収集コースや収集曜日等の変更が生じます。区民生活への影響を最小限にするよう、作業計画の工夫と区民への周知方法を検討していきます。 清掃車両の保有台数については、清掃車両のコストを考慮し、年々減少しているごみ量に応じた減車を図り、委託化等により効率的かつ機動的なあり方を引き続き検討していきます。
-------	---

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	
		II. 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00454)

事務事業名称			杉並清掃事務所の維持管理			款	06	項	01	目	04	事業	002	整理番号	470		
現担当課名			杉並清掃事務所			係名			管理係			連絡先 電話番号	3392-7281	昨年度 整理番号	473		
上位施策No・施策名										10		ごみの減量と資源化の推進			予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始		平成12年度														
	平成27年度 担当課名		杉並清掃事務所									事業評価区分		施設維持管理			
	対象		12,615.34㎡ (本所-784.70㎡、下井草分室-602.96㎡、旧杉並中継所-6890.31㎡、方南支所1875.64㎡、高円寺車庫2461.73㎡)			根拠法令等		(1)		(2)		杉並区公有財産管理規則					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○建物や設備等を適正に管理し、安全で機能的な執務環境を確保する。			活動指標		指標名 (1)		指標説明		電気使用量					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)		○杉並清掃事務所、下井草分室、方南支所、高円寺車庫及び旧杉並中継所の庁舎等の維持管理と運営を行う。			指標名 (2)		指標説明		成果指標		指標名 (1)		指標説明			
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度 対計画比 (%)								
				計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画									
指標	活動指標 (1)		1	kwh	921,739	1,100,000	902,767	884,712	873,409	855,940	98.7						
	活動指標 (2)		2														
	成果指標 (1)		3														
	成果指標 (2)		4														
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	104,784	129,666	121,609	118,033	106,335	114,677	平成27年度 予算執行率 (%) 90.1						
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費		7	千円	41,551	49,549	47,564	48,130	46,838	46,007	高円寺車庫脱臭塔活性炭交換、酸素クラスター脱臭装置生成交換等を前年度実施したことにより、前年度事業費から減となりました。						
	職員数	常勤職員数		8	人	5.91	5.65	5.84	5.75	4.88	4.75						
		再任用職員数		9	人	0.67	0.70	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数		10	人	1.17	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	51,003	49,777	51,450	50,658	42,685	41,548						
		再任用職員分		12	千円	2,586	2,835	0	0	0	0						
		非常勤職員分		13	千円	3,253	2,830	2,830	2,830	2,935	2,935						
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	161,626	185,108	175,889	171,521	151,955	159,160							
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)		15	円	175	168	195	194	174	186							
	財源	受益者負担分		16	千円	10,015	11,225	8,963	11,326	9,167	11,075						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	10,015	11,225	8,963	11,326	9,167	11,075								
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	151,611	173,883	166,926	160,195	142,788	148,085								
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	6.2	6.1	5.1	6.6	6.0	7.0								

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 470

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		保守管理委託			44,050
		光熱水費			48,021
		維持管理経費			5,754
		施設等整備費			8,510
		その他（ ）			
(2) 事業実績	老朽化が進んでいる各清掃施設について、各種保守点検委託や計画的・緊急的な修繕・工事を行い、最小限の経費で建物を保全し執務環境の維持に努めました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題	各清掃施設の老朽化に伴い、機器設備の不具合や緊急的な修繕などが顕著になっています。また、杉並清掃事務所の耐震診断では、安全なIS値を満たしておらず、大規模な震災が発生した場合に損壊する恐れがあり、早急な耐震補強工事が必要です。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性			
		II. 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				